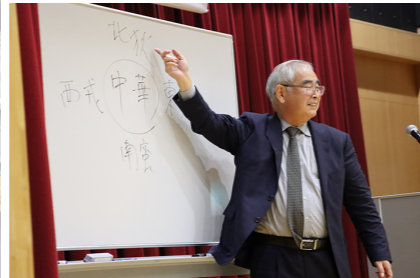


東松島市文化財講演会

蝦夷と柵戸 (倭人)

古代牡鹿地方の住民の実態に迫る！

昨年の12月17日、矢本東市民センターで東松島市文化財講演会『蝦夷と柵戸(倭人)ー古代牡鹿地方の住民の実態に迫る！ー』を開催しました。講師に東北学院大学名誉教授の熊谷公男先生をお招きし、会場には市内をはじめ、県内外から180名が集まりました。



古代史ファン180名が集まる！



▲熊谷公男氏

飛鳥時代から奈良時代にかけての石巻地方は、陸奥国牡鹿郡に属し、蝦夷との境界の地に位置していました。東松島市赤井にある赤井官衙遺跡は、郡の役所跡または、蝦夷政策の軍事施設であると考えられています。

今回の講演会では、そもそも「蝦夷」とはどんな人たちだったのか、その成立と概念と彼らの文化、蝦夷の居住地の境界の変遷と律令国家の支配の関係、さらに赤井官衙遺跡の発掘調査からみる、移民の実態が語られました。

会場では、講演を聞きながら資料に入ったり、うなずきながら熱心にメモを取る姿が多く見られました。

村報 縄文村



Feb 2024 Vol.77 発行

24年2月現在 村びと数507人 世帯数171世帯



令和6年度 イベントカレンダー 公開&先行予約開始！

みなさまお待たせしました！来年度のイベントの村びとさん先行予約を開始します。今年度は応募が多数あったイベントは『抽選』にて決定いたします。当館のイベント枠は8割がファンクラブ会員・2割が一般とさせていただきます。「先行予約」は、ファンクラブの1番の特典であることは承知しておりますが、より多くの村びとさんにイベントへ参加していただきたいと思っておりますので、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

村びとさん、先行予約期間開始！

■先行予約期間に非会員の方のみのお申込みはご遠慮願います(=代理で申込み)。村びとさんの同伴者として、非会員の方が一緒に参加される場合は、申込み可能です。

■先行予約期間に、村びと以外への申込み用紙の譲渡・カレンダーのSNS等へ転載はご遠慮ください。

3月4日(月) 申し込み締め切り

■イベント参加希望の方は、3月4日(月)までにお申し込みください。

■応募者多数になったものは抽選し結果をお送りします。抽選にもれたイベントはキャンセル待ちとさせていただきます。

■抽選の有無に関わらず、資料館からの返信は3月11日(月)以降になります。

申込先

☎電話で 0225-88-3927 (水曜は休館日)

📠FAXで 0225-88-3928 申込み用紙を送信

✉メールで jomon@city.higashimatsushima.miyagi.jp

資料館受付で 申込み用紙を直接お渡しください。

村民税納付のお願い

今号に、令和5年度(2023年4月～2024年3月)の村民税(年会費)の納付状況のお知らせを同封しております。ご確認の上、お早めに納入をお願いいたします。また、来年度の村民税も受付しております。

※村民税は、村報の印刷費・郵送料等に使用しております

方法1 資料館受付で直接納入

方法2 郵便局で振り込む

口座記号番号: 02210-9-49582

加入者名: 里浜貝塚ファンクラブ

里浜貝塚ファンクラブは自動更新です。

里浜貝塚ファンクラブは年度ごとに自動更新されます。申し出がない限り、事務局で退会扱いすることはありません(長期滞納を除く)。退会をご希望の場合は、必ず縄文村歴史資料館までご連絡をお願いします。



ヤマザクラ 2011本 プロジェクト 植樹祭

3月24日(日) 10:00 → 12:00

活動場所 縄文村とその周辺

今年ついに10回目の植樹祭を開催します。継続的にご参加頂いている方はもちろん、久々の参加、初めての参加も大歓迎です。植樹のお手伝いをしていただける方を募集しています。ご協力いただける方は資料館までご連絡をお願いします。

TEL 0225-88-3927

Mail jomon@city.higashimatsushima.miyagi.jp



エコバック 好評販売中！

げんちゃんファミリーがあしらわれた、資料館限定のエコバック！お出掛けにはもちろん、報告書の持ち運びにもピッタリのサイズ感です！笑

来館の思い出にいかがでしょうか？

サイズ(本体):高さ約34.5cm×幅約29cm マチ約6.5cm

素材:不織布 色:ネイビー

¥400/ひとつ A4サイズ収納可能！マチ付き！

お買い求めは当資料館まで！



編集後記

今号は講演会や赤井官衙遺跡、バスツアーメインの内容でお届けしました。イベントだけにとどまらず、縄文シティサミットや講演会など盛りだくさんの1年でした。今年には特に、多くの村びとボランティアさんに助けていただきました。改めてお礼申し上げます。村びと限定のイベント先行予約も開始しますので、ぜひご参加ください。来年度もみなさまにお会いできるのを楽しみにしております(∇∇)!

講演会で語られたキーワード

「蝦夷」とは? 01 Keyword

アイヌとも倭人も異なる、律令国家からみて服従しない「まつろわぬ人々」。土器や住居などは倭人の文化を受け入れるが、墓制・言語は独自の文化を有した。

古墳の北限と 蝦夷の居住地 02 Keyword

「蝦夷」という概念ができたのは6世紀の半ば。古墳の北限ラインが倭人文化と蝦夷文化の境界線で現在の秋田・山形県境付近-大崎平野-北上川河口付近にあたる。アイヌ語地名が色濃く残る南限線とはほぼ一致する。

「城柵」とは? 03 Keyword

律令国家による蝦夷支配の拠点として、蝦夷との境界線に配置。牡鹿柵(赤井官衙遺跡)はその東端に位置する。城柵の造営と維持には「柵戸(関東地方からの移民)」があつた。牡鹿柵には上総国(千葉県)から丸子氏(のちの道嶋氏)らが移住し担った。

アンケート

- ・近くに住んでいても知らないことがたくさんあり、知る良い機会となりました。
- ・今回の講演で赤井官衙遺跡について興味を持ってました。今後も講演があれば聞いてみたい。
- ・蝦夷の概念について理解が深まりました。蝦夷と柵戸の境界地域がどのように支配のしかたや文化の交流が進んだのか興味を持たれます。
- ・赤井官衙遺跡がこんなにHOTなことを知らずに来てしまいました。熱い。地元の資源として、開発されず、残されていくと良いと思います。